

将来の西条市を担うリーダーを育成！

8/5～6 子ども防災キャンプ

7/31 子ども防災サミット



小学校の集大成として、防災を切り口に広く社会に目を向け、より確かな社会性を身に付ける12歳教育推進事業として、市内26校の代表が一堂に会して、体験活動や意見交換を行いました。徳田小学校を会場とした防災キャンプは、共同生活を通じて子どもたちの防災意識と連携を高める契機となりました。



私たちの生活に深く関わる海の恩恵に感謝！

8/2 マリンフェスタ in 西条

7/20 第35回 研修の船



海の月間の協賛事業「マリンフェスタin西条」は、のべ900人を超える参加者でにぎわい、今治海上保安部の巡視艇の船内見学やボート乗船体験などで、海の安全について学びました。



市内の小中学生とその保護者など約800人が参加した、「研修の船」も今回で35回を数えます。救命胴衣の着用実験には、緊張した表情の子どもたちが参加していました。

これからも広い主題にわたる資料収集・公開に努めます

7/30 図書館講演会

7/21 来館者が10万人達成



子どもと本の出会い事業の一環として、西条図書館で講演会が開催され約150人が参加しました。講師の新開孝先生（昆虫写真家・松山市出身）は「虫のふしぎさがし」をテーマに、身近な昆虫の観察方法や知られていない生態などを紹介され、子どもたちは夢中になって聞き入っていました。

6月1日に開館した西条図書館の入館者が、7月21日に10万人に達しました。記念すべき10万人目は、新居浜市の松本元希君（大生院小学校5年生）でした。認定書と記念品を受け取ると「夏休みなのでまた来ます」と話してくれました。



8/4 野口英世レリーフ像を再建立

7/22 わくわくどきどき 日食観察会

平成16年の台風で倒壊していた、黒瀬地区出身の伊藤五百亀先生制作の野口英世レリーフ像が、旧大保木中学校の卒業生など12名の有志の方により大保木公民館に再建立されました。旧黒瀬小学校に建立後、学校のダム水没により旧大保木中学校へ移転し、その後被災していたものです。

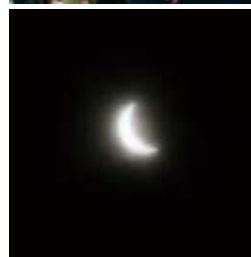


国内では46年ぶりとなった皆既日食も、西条市内では最大食分 0.866の部分日食となりました。西条図書館裏の中央緑地では、西条自然学校による日食観察会が開催され、夏休み中の子どもたちなど約70人が参加し魅惑の天体ショーを楽しみました。薄く広がる雲間から三日月のような太陽が見えた瞬間には、大きな歓声が上がりました。

推進しています！ 地域産材での家づくり



西条地産地消の家づくり推進協議会主催の「地産地消」家づくりセミナーが開催され、参加者は木材の搬出現場や木材市売場などを見学しました。地域材を利用した家づくりの推進を目的とするセミナーは、12月まで毎月1回開催予定です。（9月の開催は17頁参照）



▲ 観察した部分日食

